

1 調査の目的

市の最上位計画である「第2次奥州市総合計画」が令和8(2026)年度で最終年度を迎えることから、令和9(2027)年度を初年度とする次期総合計画の策定を進めています。

今回の市民アンケート調査は、次期総合計画の策定のための基礎資料として活用するため、これまでに取り組んできた施策に対する満足度や今後、特に力を入れるべき施策等について、率直な市民のお考えを把握することを目的に実施したものです。

2 調査の条件

(1) 対象者

令和7年9月1日時点の住民基本台帳から無作為抽出した市内在住の満18歳以上の男女3,000人

(2) 実施期間

令和7年9月17日(水)～10月17日(金)

(3) 実施方法

郵送による調査票の配布

回答は、郵送又はWEB(インターネット)による回答

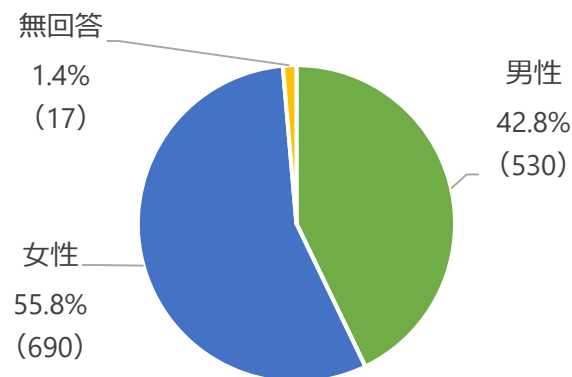
3 回答状況

- ・サンプル数 3,000人
- ・有効回収数 1,237件
(郵送回答800件、WEB回答437件)
- ・回収率 41.2% (参考：R3回収率42.3%)

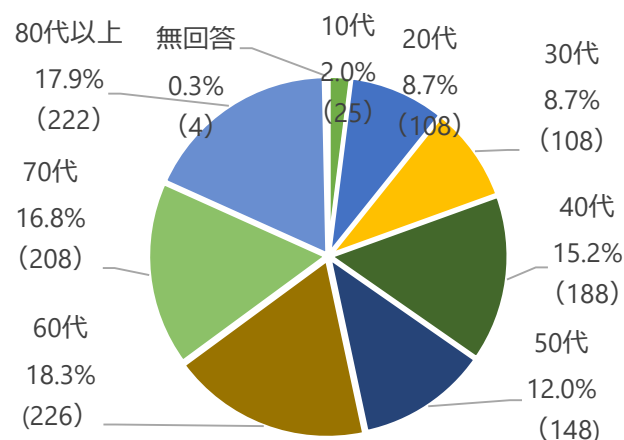
4 調査結果の概要

(1) 回答者の属性について

① 性別



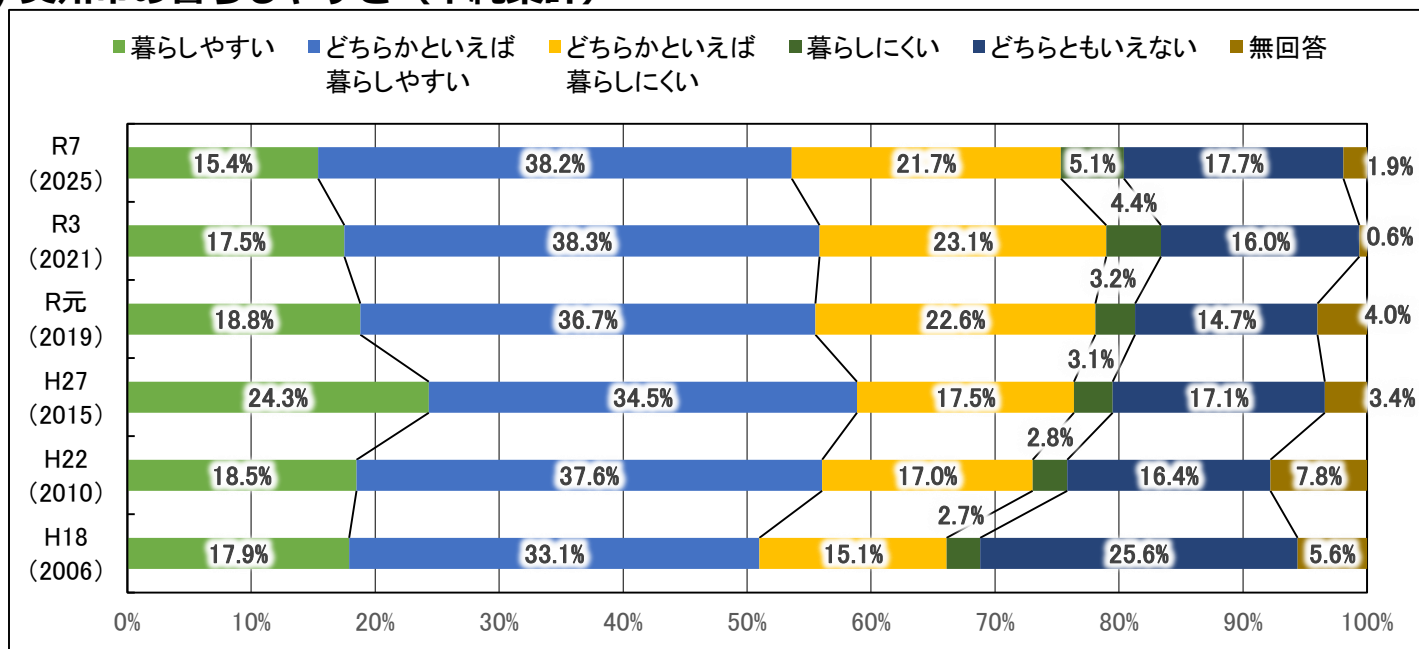
② 年代別



回収率の高い順

- ①60代
- ②80代以上
- ③70代
- ④40代
- ⑤50代
- ⑥30代
- ⑦20代
- ⑧10代

(1) 奥州市の暮らしやすさ（単純集計）



暮らしやすいと回答した割合は、5割を超えるものの前回調査と比べて低下しています。

▶暮らしやすいとする理由トップ3

順位	理由	割合
1位	自然環境が良い	50.7%
2位	人間関係、近隣関係がよい	43.7%
3位	買い物が便利	43.3%

▶暮らしにくいとする理由トップ3

順位	理由	割合
1位	まちに活気がない	48.5%
2位	交通の便が悪い	47.6%
3位	医療・保健機関が不足している	32.2%

(2) 今後、特に重点的に取り組むべき事項（全体及び年代別トップ3）

【全体】

順位	項目	割合
1位	農業担い手の確保や経営体の強化	17.9%
2位	医療・保健サービスの充実	16.7%
3位	子育てがしやすい環境づくり	14.4%

〔30代以下〕

順位	項目	割合
1位	子育てがしやすい環境づくり	32.0%
2位	医療・保健サービスの充実	16.6%
3位	市街地の魅力創出と賑わい	10.4%

〔40代・50代〕

順位	項目	割合
1位	医療・保健サービスの充実	21.7%
2位	子育てがしやすい環境づくり	13.1%
2位	働く場、雇用機会の確保	13.1%

〔60代以上〕

順位	項目	割合
1位	農業担い手の確保や経営体の強化	24.4%
2位	高齢者に対する介護・福祉サービスの充実	15.9%
3位	医療・保健サービスの充実	14.2%

全体では、**農業担い手の確保や経営体の強化**が17.9%で最も高く、以下、**医療・保健サービスの充実**の16.7%、**子育てがしやすい環境づくり**の14.4%の順となっています。

年代別にみると、第1位は、20代以下・30代が**子育てがしやすい環境づくり**、40代・50代が**医療・保健サービスの充実**、60代・70代・80代以上が**農業担い手の確保や経営体の強化**となっており、回答者のライフステージによって大別できます。どの年代においても**医療・保健サービスの充実**が上位になっており、年代共通で重点的に取り組むべきと考えられています。